

講座 1	近代日本画の変遷			
	【定員】100名 【受講料】2年会員11,440円 1年会員12,870円 聴講生17,160円			
概要	『美術』美術Ⅰ 【時間】毎回10時30分～12時00分 (計12回)			
概要	開国により西洋文明にふれた日本。「西洋画」に対して「日本画」という語が登場したのも明治時代。この新しい時代に、伝統と革新の間で変わりゆく日本画のありようを、代表的な画家たちの作品から見てゆきましょう。尚、近代日本画をより深く知るために、中世・近世から現代まで様々な視座からアプローチしてゆきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/10(月)	高津市民館 大会議室	開国！幕末から近代へ、変わる日本美術	多摩美術大学講師 永田 真紀
2	4/24(月)		狩野芳崖と橋本雅邦	
3	5/8(月)		岡倉天心とフェノロサの美術教育	
4	5/29(月)		自然への眼差し 横山大観が描いたもの	
5	6/12(月)		水墨の技一大観や御舟に見る水墨表現	
6	6/26(月)		竹内栖鳳と京都画壇	
7	7/10(月)		円山四条派—幽霊画は応挙が始まり?!	
8	7/31(月)		美人画の双璧 上村松園と鍋木清方	
9	8/14(月)		夭逝の画家、速水御舟が志向したものとは？	
10	8/28(月)		現代まで受け継がれる琳派のDNA	
11	9/4(月)		時代を考える—万国博覧会とジャポニスム	
12	9/11(月)		日本画のトランスフォーム そして現代へ	